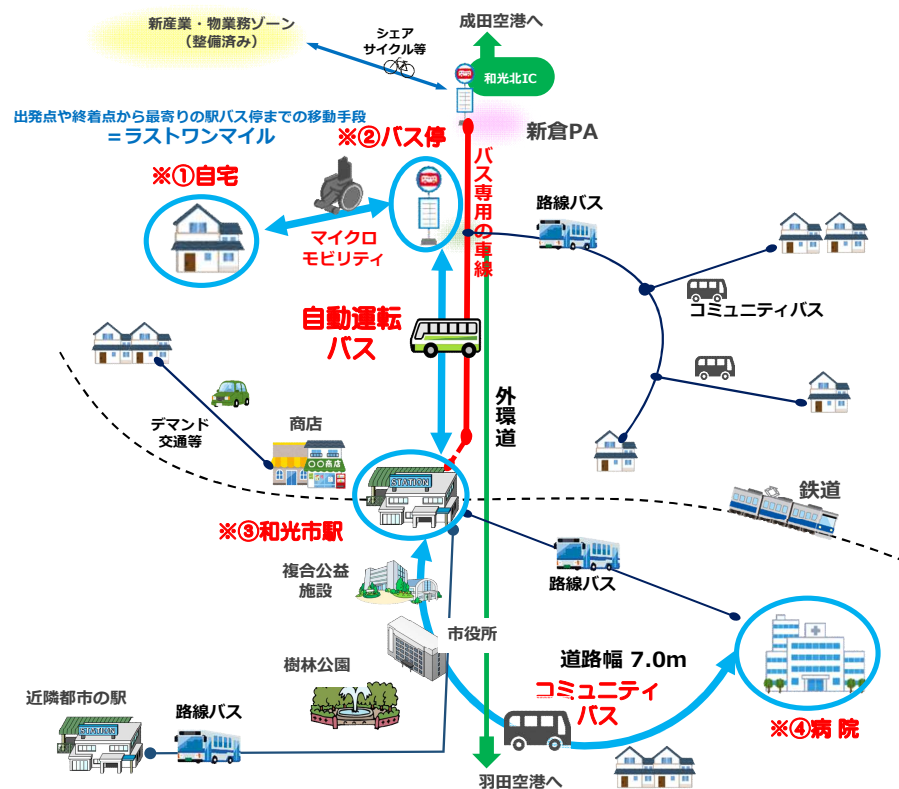


# 和光版MaaSとは？ 自動運転とは？

## 『和光版MaaS』（マース）？

和光市では、高齢化社会に備えて「全ての市民の移動の自由」を確保するため、先進技術の導入を進め、地域公共交通の充実を推進しています。

情報通信技術の活用により、多様な移動手段（電車やバスなど）を組み合わせ、出発地から目的地までの移動について、「検索」「予約」「決済」を一括して行うサービスの提供を進めます。



### 【和光版MaaSによる移動例】

※MaaSによる移動例



## 自動運転による移動サービス？

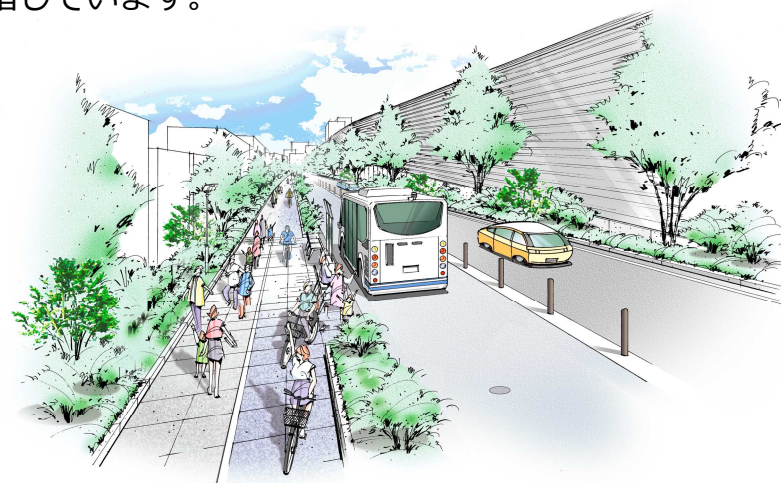
移動のしやすさ向上には、公共交通の充実が必要です。しかし、将来の**運転手不足**が課題となっており、既に路線バスの減便が始まっています。

和光市では、来る**運転手不足**に備えて、

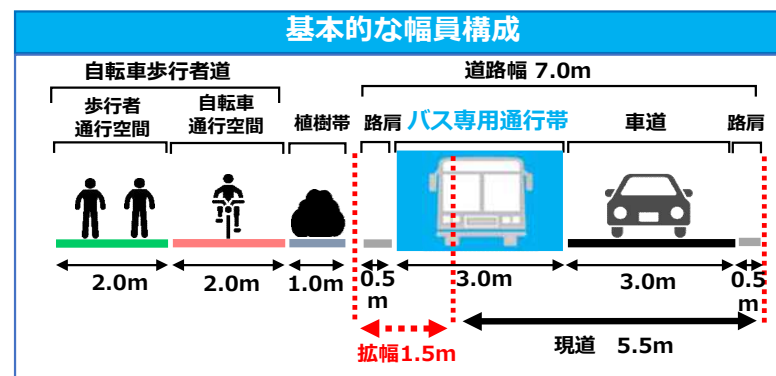
『**自動運転バスによる移動サービス**』にも取り組んでまいります。

自動運転導入に向けて、国や埼玉県、本田技研工業、東武バスウエストなどの民間事業者と一緒に検討しています。

始めは運転手がいる部分運転自動化での走行（レベル2）で行い、将来的には無人自動運転での走行（レベル4）を目指しています。



【整備・走行イメージ図】



## 自動運転バスってどこ走るの？

将来的には、市内各所で走行させる考えであります。まずは、和光市駅から市北部の産業拠点までの区間を循環走行する計画です。安全に走行するための準備（道路整備や停留所の設置等）を1期と2期に分けて行い、準備が整い次第、試験走行した後には本格運用を始める予定です。



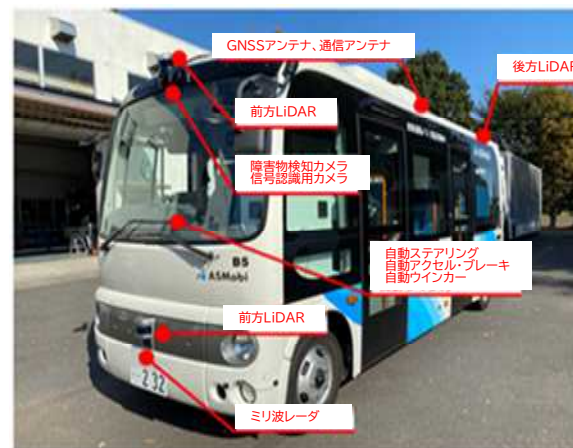
※ルートは、現状のバス路線を活用する形で検討しています。  
【走行ルート検討図】

## 社会実証走行を開始します

**社会実証走行**を8月下旬から開始する予定としています。間もなく完成するバス専用通行帯の約800mを自動運転走行、その他の区間を手動により走行します。実証期間中、**公募により市民が乗車**できる機会を設ける予定としています。その後、今年度中に社会実証走行を行う予定としています。走行に関して詳細が決まり次第、広報や市のHP等でお知らせしてまいります。

また、年末頃から外環側道において2期のバス専用通行帯の整備に着手する予定としています。

※実証走行とは、運賃をいただき営業運行をすること。



### 【自動走行制御】

- 車線維持制御
  - ・GNSS (GPS)
  - ・3Dマップマッチング
- 速度制御
  - ・信号認識/V2X
  - ・ACC
- 障害物回避制御
  - ・AI・高精度地図の活用
- 車線変更制御
- バス停止着制御

お問い合わせ：和光市役所 2階 公共交通政策室  
☎ 048-424-9135